

研究主題

# 学校内における人材育成の進め方

— 教員個々の力量を高めるための OJT ガイドブック —

【研究担当者】吉田 武雄 鈴木 徹  
松本 諭 高橋 成周  
【この研究に対する問い合わせ先】  
TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562  
E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

## 4 総合教育センターが提案する「OJT の重点」

人材育成を考える際には、まず、「教員の力量」として、岩手県の教員がどのような資質能力を身に付けなければならないかを明らかにする必要があります。

そこで、ガイドブックでは、校種や学校間によらず、岩手の教員全員が共通に高めるべき OJT の重点を以下の3つに整理し提案しています。

**岩手県 OJT の重点**

**I 教員としての姿勢**

教員として、学び続ける姿勢や熱意や使命感、責任感、確かな教育観を持たなければなりません。

**II 授業力**

分かりやすい授業をし、児童生徒に確かな力をつけるために、授業構想力や授業実践力を高めなければなりません。

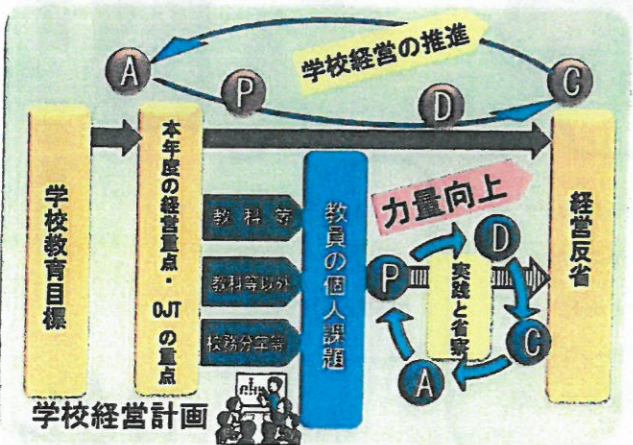
**III マネジメント力**

職務遂行にあたって、教育活動を企画する力をつけなければなりません。

## 5 学校の OJT の重点と個人課題を明確にする手順

教員にとって、学校の組織の一員として遂行しなければならない職務は、学校教育目標の具現化です。

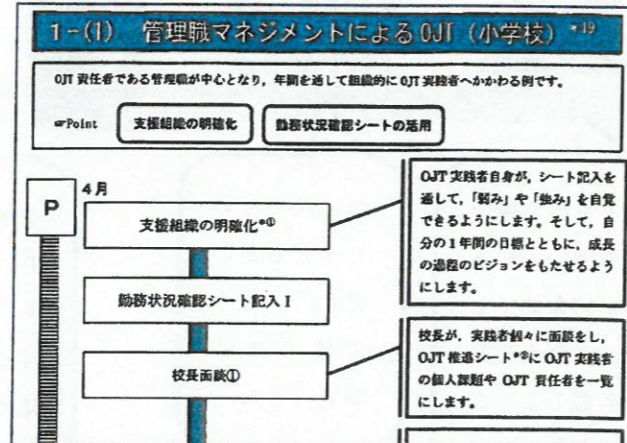
そこで、ガイドブックでは、学校教育目標を受けて、教員全員が高めるべき力量の重点と、それを具体化した教員の個人課題を決める際の手順を示しています。



## 6 OJT の具体例

ガイドブックでは、県内の各校の取組をもとに、OJT をどのように進めればよいか具体例を挙げて、そのポイントを解説しています。

各学校が、具体例を参考にして、実態に合わせて、OJT を工夫して取り組むことができるようにしています。



## 7 おわりに —ガイドブック活用にあたって—

これまで学校内において、先輩教員から後輩教員へアドバイスをすることや新たに職務を経験すること等、無意識的に力量向上につながる取組がなされてきました。

しかし、これからは学校内の教員みんなで意識して人材育成に取り組む必要があります。このガイドブックを活用することで、岩手の子どもたちのために、教員個々の力量向上を図る大切さを再確認することができるものと期待しています。



## 1 はじめに —なぜ、学校に「OJT」が求められているか—

岩手県内では、今後ベテラン教員の大量退職に伴う若手教員の増加が見込まれること等の課題があり、組織を構成する教員個々の力量を確実に高めていく必要があります。

これらの課題に対して、県教育委員会や総合教育センター、教育事務所、市町村教育委員会等において様々な研修を実施し、学校外における人材育成 (Off-JT : Off the Job Training) をしてきました。

しかし、これらの限られた時間での学校を離れて行う研修だけでは、教員個々のニーズや実態等に十分に対応し得ない状況にあります。

そのため、今後、学校外の人材育成に加えて、学校内における実践的な研修等の取組による人材育成 (OJT : On the Job Training) を充実させることを通して、自己を啓発させ (SD : Self-Development)、職務遂行に必要な教員個々の力量 (資質・能力) の質的な向上を図る必要があります。

そこで、学校内における人材育成を支援するツールとして、ガイドブックを作成しました。学校内で OJT を推進する OJT 責任者と、OJT に取り組む OJT 実践者がどのような視点で取り組めばよいか掲載しています。



岩手県立総合教育センターWeb ページ  
<http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/index.html>

## 2 岩手県の OJT —総合教育センターが提案する3つの留意点—

県内の学校は、小規模校が多いという特徴があります。そのため、OJT を実施する際、実施体制を組みにくい学校もあるのではないかと考えられます。

そこで、ガイドブックでは、岩手県の実態に即して OJT を推進する際の留意すべき点を提案しています。



### 既存の取組の活用

研修会を新設するのではなく、既存の取組を OJT の視点から見直すようにします。



### OJT の重点化

学校で取り組む OJT の重点を絞り、相互に啓発し合えるようにすることで、教員個々の取組を充実させます。



### 個の取組の重視

教員個々が、課題やその解決方法を考え、取組を実践・省察し、改善策を考えていく過程を大切にします。

### 3 学校内における人材育成（OJT）1年間の進め方

—教員の「学級経営力を高めること」を例にして—



「学校内におけるOJT」は、「学校内における職務全般を通して、意図的計画的に行われる人材育成の活動及びシステム」のことです。

「学校内における職務全般」ですから、校内研究会や研修会だけでなく、校務分掌やPTA活動等、日常で行われる様々な職務がOJTの場となります。

学校内における人材育成（OJT）をどのように進めるとよいか、「岩手県のOJT—総合教育センターが提案する3つの留意点—」に沿って、OJTの1年間の進め方のポイントを下図に示しました。各ポイントについては、ガイドブックで詳しく述べています。

#### Point 1

意図的計画的な推進

#### Point 2

個人課題の明確化

#### Point 3

教員個々の実践と省察

